



コブシンの山小屋



十坪ハウス



梅畑の家



トタンの家



コートハウス



草と土のユル



魔女の家



緑の本棚



どくだみホール



たぬきの家

はじめまして!

もじゃハウス®プロダクツ /です、

—都市の中で人と植物が共存できる世界を空想する— 干潟裕子

はじめまして、もじゃハウスプロダクツです。

植物でモジャモジャの緑建築、通称「もじゃハウス」を作りたいという思いがあふれて止められなくなった33歳の春、会社を辞めて、緑建築専門の設計事務所「もじゃハウスプロダクツ」を一人ぼっちで開業しました。

当時はSDGsという言葉もなく、観葉植物をたくさん並べた森のようなインテリアも流行っておらず、植物と共に暮らすことを掲げた私の思いは世に広まらぬまま、無情にも時は流れ、いまだに依頼ゼロ、一軒の建設実現にも至らず、今年で開業12年目の春を迎えています。

ちなみに、私の本業は外構設計を行うランドスケープアーキテクトで、樹木医でもあります。どちらとも建築とは異なる分野の仕事ですが、若い頃に福岡の街中に佇む、森のようなビル「アクロス天神」に魅了されたのがきっかけで、都市の中で人と植物が共存できる世界を空想するようになりました。現在は二級建築士を取得し、人と植物が同じ場所に根を張って、共に生きて

いくための方法を追い求め、奮闘しています。

私の自己紹介を聞き、緑建築の話に興味を持った方は本物を見てみたいと思うでしょう。「もじゃハウスってどこで見られますか?」この12年、幾度となく聞かれましたが、本物はまだありません。

さて、どうすればアンビルドな建物を見てもらうことができるのか、いろいろと考えた末、ミニチュア版もじゃハウスの製作にとりかかり、現在までに10種類のもじゃハウスが完成しました。すべてのミニチュアは、部屋の間取りはもちろん、植物の種類や植える場所、日当たりなどを考えながら図面を引き、製作しているのです。実際に建てることも可能ですし、条件さえ合えば、植物もおおよそこのように育つはずですよ。

【プロフィール】

干潟裕子(ひがた・ゆうこ)
設計事務所もじゃハウスプロダクツ代表
京都芸術短期大学ランドスケープデザインコース卒業
山口県生まれ京都市在住
ホームページ
<https://www.mojya-house.com/>
SNS
X(旧Twitter): @MojyaHouse
Instagram: @mojyahouse